

Japanese Technologies Showcase Event で発表しました (2019/8/8)

テーマ：防災技術、日本

場所：Sheraton Anchorage Hotel & Spa (アメリカ合衆国アラスカ州)

2019年8月8日、アメリカ合衆国アラスカ州アンカレジにて、在アンカレジ領事事務所およびアンカレジワールドトレードセンターによる共同開催で、日本の防災・農業等先進的な技術をアラスカに紹介する Japanese Technologies Showcase Event が実施されました。同イベントにおいて、当研究所の小野裕一教授（情報管理・社会連携部門）、中鉢奈津子特任助教（広報室）は災害科学および防災に関する発表を行い、小野教授は東日本大震災の諸教訓および世界防災フォーラムについて、中鉢特任助教は災害科学国際研究所の研究・実践活動について紹介しました。佐藤雅俊・在アンカレジ領事事務所長によると、日本はアラスカ州と地理的に近く、貿易上で極めて強いつながりを持ってきた歴史があるとのことでした。同イベントには、佐藤事務所長、アラスカ州副知事ほか、商業や防災関係者など約35名の出席者があり、イベントに続く意見交換会でも、防災や科学などについて、出席者と活発な議論を行うことができました。アラスカは1964年、マグニチュード9.2の地震および地震に伴った液状化・津波を経験した地でもあり、IRIDeSの研究・実践活動にも防災分野における連携には意義があると考えられます。



グレッグ・ウォルフ氏（アンカレジワールドトレードセンター事務局長）によるオープニング



小野教授の発表の様子



中鉢特任助教の発表の様子



アンカレジ市内で、アラスカ地震による地すべり地域をそのまま公園として保存